

囲碁フェスタ 2022 さかえ【1】

日本棋院横浜栄支部 会場：あーすぷらざ 2022年8月28日（日）

3年振りに活気を取り戻した栄区囲碁界にあって、日本棋院横浜栄支部は新企画『囲碁大会兼認定会』を6月26日成功裏に開催出来たことを受け、第2弾として級位者も段位者も一緒に楽しめる大会として「囲碁フェスタ 2022 さかえ」を8月28日（日）”あーすぷらざ”にて開催しました。

日本棋院・本院よりプロ棋士奥田あや四段を招聘しての「指導碁」、男女がペアを組んでの「ペア碁」、栄区内・地域別で5人1組の対局「連碁」で大いに盛り上がりました。

男女ペアの他に親子・兄弟姉妹、孫と祖父母との組み合わせ、更には囲碁普及会教室の生徒とインストラクターの組合せの参加も認められ、16組の参加があった。

16組を2班に分け「ペアの持ち点によるハンデ戦」を3局を戦った。A班、B班共優勝、準優勝者ペアが表彰され、参加の子供たちにはフェスタ賞が与えられた。



5人編成4チームで平均持ち点によるリーグ戦形式、総当たり3回戦。参加チームは「本郷A」「本郷B」「上郷」「豊田」の4チーム。

優勝したのは上郷チーム、メンバーは小尾優三、永野弘之、川村達夫、高島修男、窪川満の5氏。成績は「3戦全勝」（右写真：優勝チームから4人）



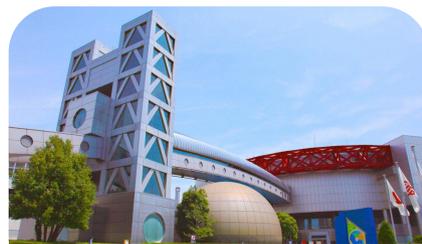
奥田プロがペア碁会場に・・・。



奥田プロとランチタイム：佐野嘉男顧問も同席し各囲碁団体の役員が出席し懇談、囲碁談議に花が咲く



懇親会は奥田プロも明るく参加。



地球市民かながわプラザ（通称”あーすぷらざ”）



ペア碁会場



連碁会場



優勝した「趙傑樹・島村和典ペア」（A班/左）と「中山稔・乙川宏ペア」（B班）



【ペア碁】



【連碁】



囲碁フェスタ 2022 さかえ【II】

日本棋院横浜栄支部 会場：あーすぷらざ 2022年8月28日（日）

日本棋院から、昨年からずっと好調を維持している奥田あや四段を招聘し「指導碁」「囲碁講座」を開催し、大変好評であった。

「指導碁」は、午前午後の2回、「6面打ち」をお願いした。午後の部では栄区の将来を担う子供たち5人（六段～三段）を特別に招待し、貴重な指導対局を経験して貰った。対局時間をたっぷり取り、対局終了後の手順再現によるポイント解説など、参加者全員（12人）は大変喜んでいました。

【午前の部】参加者名（コメント）

- 笠原高男四段（優しく打って頂き、碁らしく打てた）
- 阿部志郎四段（予想の構想が上手にとがめられた）
- 新晴夫三段（奥田先生に打った貰って嬉しかった）
- 成田直樹二段（布石を有利に置く手順をご指導頂きありがたかった）
- 玉井歳夫初段（コメント得られず）
- 越後谷隆初段（弱い石を作らない事が大切と感じた）



【囲碁講座】

囲碁講座は、関西棋院が9/1付でプロ棋士として採用した藤田怜央初段（小3、9才）の、瀬戸大樹八段との試験碁を取り上げ、丁寧に解説頂いた。

奥田あや四段のプロフィール



奥田あや四段

- 神奈川県出身
- 平成16年入段
- 昨年20勝14敗、本年17勝10敗（8/2現在）と好成績。17勝には現在最も打っている謝依旻七段、鈴木歩七段への勝ち星も含まれる。さらに『プロ棋士ペア碁選手権』2度優勝の実績を有している。



【午後の部】参加者名（コメント）

- 宮地陽哉（小5）六段（結果は残念だが、プロと1局打って良かった）
- 中山翼（小4）五段（初めてプロに3子でいい碁を打って良かった）
- 村上日菜子（高2）四段（最初からやられっぱなしで”自分の碁が打てず”悔しかった）
- 村上明日香（小4）四段（4子と厳しい条件だったが自分らしい碁が打てた）
- 島井康伸（小4）三段（勝って嬉しい、次は4子で頑張りたい）

特別参加の片山卓氏（中盤のポイントが判り、勉強になった）



【懇親会】

